

令和2年度 エクスカーション参加団体募集のお知らせ

公益社団法人 土木学会 中部支部

土木学会中部支部では、小中高等学校の教職員、教員を目指す学生及び理工系の学生団体を対象に、防災をはじめとした土木の役割、大切さ、重要性などを学習し、学校での教育に役立ててもらうことを目的としたエクスカーション（体験型見学会）を実施してまいりました。

エクスカーションは、教職員の研修会・勉強会としてや、大学の授業・ゼミとしても活用いただけます。

令和2年度は、以下の応募要領で参加団体（1団体）を募集することといたしましたのでお知らせします。

決定した参加団体には、エクスカーションの実施に際し、費用の補助、計画の支援を行いますので、この機会を積極的に活用していただき、エクスカーションがより充実した成果となるよう、奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

エクスカーション応募要領

1. 応募方法と条件

(1) 応募方法

次の内容をA4用紙に記入の上、郵送またはE-mailでお申し込みください。

【記入内容】

- ① テーマ
- ② コース（半日又は1日のどちらかを記入してください。）
- ③ 希望見学先（予備も含め半日コースは2～3ヶ所、1日コースは3～5ヶ所）
※見学先には土木施設に関するものを必ず1施設は入れてください。
- ④ 参加人員（予定）
- ⑤ 応募動機（期待する効果）
- ⑥ 過去の参加の有無
- ⑦ 連絡先

(2) 条件

- ① 対象者
 - ・小中高等学校の教職員団体
 - ・教員養成系学部の学生
 - ・理工系学部の学生

ただし、過去3年以内に参加頂いた団体の応募は不可とします。
- ② 参加人数
最少15名以上最大40名程度（バス定員より）
- ② 開催時期
令和2年8月～11月

④ 実施報告

エクスカージョン終了後1か月以内に、A4版1～2枚程度で報告書を提出してください。(応募動機に対する評価などを記載してください。)

2. 土木学会支援内容

(1) 金額支援

- ・バス代・施設入館料など 上限20万円

※上限以内であっても、昼食代は実費負担をお願いします。

(2) 調整支援

- ・旅行会社（バス会社）との調整
- ・土木関連施設の先方との調整

※土木関連施設以外の施設は、応募者側で調整をお願いします。

3. 応募締め切り

令和2年2月21日（金）

4. 選考・通知

土木学会中部支部にて選考します。

選考に当たっては、これまでの参加回数や目的、コース内容を参考にします。

結果は、3月中旬頃、連絡先にお知らせいたします。

5. 申込先、問い合わせ先

公益社団法人 土木学会 中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-9-26 ポーラビル内

TEL : 052-222-3705

E-mail : jsce758@quartz.ocn.ne.jp

【参考】過去の事例

- ・名古屋港の防災を考える
(名古屋港施設巡視)
- ・濃尾平野の防災について
(輪中の郷、長良川河口堰、発電所工事)
- ・海から港を見てみよう
(名古屋海洋博物館、名古屋港)
- ・陶磁器産業と砂防
(市之倉おりべ砂防堰堤、多治見砂防国道事務所、本町オリベストリート)
- ・新名神高速道路(トンネル、橋梁工事現場)、長良川河口堰、船頭平閘門の見学
及び建設現場職員との意見交換
- ・中川運河散策、リンナイ旧部品センター、岡谷鋼機倉庫、露橋水処理センター

- ・東海北陸自動車道4車線化事業現場見学と白川郷散策等
（日本一高い橋脚の鷺見橋他）
- ・美濃市の土木遺産と東海環状関広見トンネル工事現場の見学
- ・伊勢湾水理環境実験センター（長大水槽による津波、波浪実験や液状化実験）
及び蒲郡港浚渫工事現場の見学